

令和3年度 危険物取扱者試験 試験案内

一般財団法人 消防試験研究センター 愛媛県支部

目次

1 受験申請の方法	P. 1
2 試験日、受験願書の受付期間、願書の受付場所等	P. 1
3 試験会場等	P. 1
4 受験願書等の配布場所	P. 1
5 危険物取扱者免状の種類と取扱いができる危険物	P. 2
6 受験資格	P. 2
7 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間	P. 2
8 乙種・丙種 危険物取扱者試験の科目免除	P. 3
9 複数受験	P. 3
10 試験手数料とその払込方法	P. 4
11 受験願書の記入	P. 4
12 受験願書に必要な添付書類等	P. 4
13 受験票及び写真の取扱い	P. 5
14 合格基準	P. 7
15 試験結果発表	P. 7
16 合格者の免状交付申請手続き	P. 7
17 団体申請による受験(団体受験)	P. 7
18 その他の注意事項	P. 8
19 お問い合わせ先及び支部事務所案内図	P. 8
別記1 甲種危険物取扱者試験 受験資格	P. 9
別表1 化学に関する学科等の例	P. 10
別表2 化学の授業科目例	P. 11
○専修学校用受験資格証明書(書式例) ○単位修得証明書(書式例)	P. 13
別記2 受験願書記入要領(受験願書記入例 付き)	P. 14
○合格者の免状交付申請手続き	P. 19

新型コロナウイルス感染症の感染拡大や災害等により会場や日程を変更する場合には、愛媛県支部からの緊急情報としてホームページに掲示しますので、ご留意下さい。

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により、愛媛県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

（受験される方は、この試験案内を熟読し記載内容に同意したうえで、受験願書を提出願います。受験願書を提出された方は、この試験案内に記載された全事項に同意されたものとして取り扱います。）

1 受験申請の方法

(1) 個人申請

区 分	申請の条件・制限	申請の方法
書面申請	なし（試験の種類等を問わない）。	受験願書を入手し（後述4）、郵送又は持参（後述2）。
電子申請	1 高等学校以外での受験であること。 2 （個人申請にあつては、）複数受験（後述9）を除く。 3 甲種にあつては、別記1[3]の下段の対象者のみ。（下記の※ 参照） 4 既得の危険物取扱者免状以外の各種証明書類で受験資格や科目免除を受ける場合を除く。（下記の※ 参照）	（一財）消防試験研究センターのホームページに従い申請（入力） センターホームページ https://www.shoubo-shiken.or.jp

※ 上表中の3、4にかかわらず、過去3年以内の受験票（控）又は試験結果通知書の「資格判定コード」等を入力して、同じ試験種類に限り（証明書等が不要となる結果）、電子申請することができる。

(2) 団体申請

10人以上の受験者が見込める団体が、受験申請を団体で行う場合は、後述17を参照のこと。

2 試験日、受験願書の受付期間、願書の受付場所等

別紙「令和3年度 危険物取扱者試験 試験日程等」をご確認ください。なお、次の事項にご留意願います。

- ※1 郵送による提出は、受付締切日までの日付消印があり、かつ、必要事項の正確な記入と必要な貼付書類等が全て整っているものに限り受理する。不備な願書については、受付締切日後に修正指導は行わず返却するので、受付期間内に確実に受理され受験できるよう、余裕をもって郵送又は持参すること。
- ※2 郵送による提出の場合、願書が届いたか否かの照会はできない。
- ※3 電子申請は、メンテナンス時間を除き、受付開始日の午前9時から受付締切日の午後5時まで受け付ける。
- ※4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大や災害等により会場や日程を変更する場合には、愛媛県支部からの緊急情報としてホームページに掲示する。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して試験日時を変更する場合は、試験開始の2時間前までに掲示する。

3 試験会場等

別紙「令和3年度 危険物取扱者試験 試験日程等」をご確認ください。

なお、上記の危険物取扱者試験のほか、原則として30名以上の企業、団体・グループの従業員等を対象に、支部との実施に向けた協議が整い定められた日時、場所で、危険物取扱者試験を行うことができる。（特定試験）

4 受験願書等の配布場所

試験実施者：（一財）消防試験研究センター愛媛県支部

〒790-0011 松山市千舟町4-5-4 松山千舟454ビル5階

TEL:089-932-8808 FAX:089-935-4484

消 防 機 関：松山市消防局、各市・町・地区消防本部

県 機 関：愛媛県消防防災安全課、愛媛県各地方局防災対策室及び同各支局総務県民室

（県外者、離島居住者への特例）

願書の郵送希望者は、「危険物取扱者試験受験願書希望」と明示の上、1部140円分（2部の場合250円分、3部以上は重量相当分）の郵便切手を添えて当支部へ請求すること。

5 危険物取扱者免状の種類と取扱いができる危険物

危険物取扱者免状取得者は、免状の種類に応じて、次表のとおり危険物の取扱いや、貯蔵施設での業務ができる。

免状の種類	取扱いできる危険物 (例示品名)	危険物の性質
甲種	全ての危険物	全危険物の性質
乙種	第1類	塩素酸塩類、亜塩素酸塩類、硝酸塩類
	第2類	硫化リン、マグネシウム、鉄粉
	第3類	黄リン、アルカリ金属、カルシウムの炭化物
	第4類	特殊引火物 (ジエチルエーテル等)、アルコール類、第1石油類 (ガソリン等) ~ 第4石油類、動植物油類
	第5類	有機過酸化物、硝酸エステル類、ニトロ化合物
	第6類	過塩素酸、過酸化水素、硝酸
丙種	ガソリン、灯油、軽油、第3石油類 (重油、潤滑油及び引火点 130 度以上のものに限る。)、第4石油類 (ギヤー油等) 及び動植物油類	

※ 甲種及び乙種の危険物取扱者は、免状指定危険物の取扱作業に立ち会うことができる。

6 受験資格

甲種試験	後述の別記 1「甲種危険物取扱者試験 受験資格」のいずれかに該当すること。
乙種試験	受験資格の制限なし (誰でも受験できる)。
丙種試験	

7 試験種類、試験科目、問題数及び試験時間

次表のとおりで、甲種及び乙種試験は五肢択一式、丙種試験は四肢択一式の筆記試験である。

試験種類	試験科目	問題数	合計	試験時間
甲種試験	危険物に関する法令 (法令)	15 問	45 問	2 時間 30 分
	物理学、化学 (物化)	10 問		
	危険物の性質、その火災予防、消火方法 (性消)	20 問		
乙種試験	危険物に関する法令 (法令)	15 問	35 問	2 時間 00 分
	基礎的な物理学、化学 (物化)	10 問		
	危険物の性質、その火災予防、消火方法 (性消)	10 問		
丙種試験	危険物に関する法令 (法令)	10 問	25 問	1 時間 15 分
	燃焼及び消火に関する基礎知識 (燃消)	5 問		
	危険物の性質、その火災予防、消火方法 (性消)	10 問		

※ (法令)、(物化)、(性消)、(燃消) の略称は、後述 8 の表中の「試験科目」で使用する。

8 乙種・丙種 危険物取扱者試験の科目免除

(1) 科目免除の概要

次表のとおり、試験科目ごとに全部又は一部が免除され、試験時間が短縮される。

免除資格者	免除対象試験	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
乙種危険物取扱者免状を有する者	乙種第1類 ～ 第6類	法令	全部免除	0問	10問	35分
		物化	全部免除	0問		
		性消	—	10問		
火薬類免状を有する者	乙種第1類 乙種第5類	法令	—	15問	24問	1時間30分
		物化	一部免除	4問		
		性消	一部免除	5問		
乙種危険物取扱者免状を有し、かつ火薬類免状を有する者	乙種第1類 乙種第5類	法令	全部免除	0問	5問	35分
		物化	全部免除	0問		
		性消	一部免除	5問		
5年以上消防団員として勤務し、かつ消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者	丙種	法令	—	10問	20問	1時間00分
		燃消	全部免除	0問		
		性消	—	10問		

※ 上表の火薬類免状とは、甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状、又は甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状をいう（火薬類取締法）。

(2) 科目免除の手続き

受験者の区分	書面申請	電子申請
① 乙種危険物取扱者免状を所持し、他の乙種試験を受験する者	別記2「受験願書記入要領」に従い ・免状の写しの貼付（願書B面裏） ・「科目免除」欄の記入（願書A面）	免除情報の入力 (ホームページから)
② 火薬類免状を所持し、乙種1類又は5類を受験する者		不可 ただし、過去3年以内に書面申請又は電子申請を行った場合は、その際の受験票又は試験結果通知書に印字された「資格判定コード」等を利用して、同じ試験種類の受験に限り電子申請ができる。
③ 5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了し、丙種を受験する者		別記2「受験願書記入要領」に従い ・団員歴証明書及び教育修了証明書を添付（願書B面裏） ・「科目免除」欄の記入（願書A面）

9 複数受験

次の資格、手続きで、乙種2種類の同時受験ができ、これ以外の複数種類の受験はできない。

なお、願書及び試験手数料は2申請分が必要である。

資格	申請の方法	手続き
いずれかの乙種免状の所持	書面申請 又は 団体「一括」の電子申請 (後述17(2)参照)	・書面申請 受験する2種類の願書を同封し提出 ・電子申請 ホームページの説明に従い入力

10 試験手数料とその払込方法

(1) 試験手数料

甲 種	乙 種	丙 種	備 考
6,600 円	4,600 円	3,700 円	受理された願書の試験手数料は返さない。

(2) 払込手続き等

区 分	払込手続き	申請時の手続き
書面申請	受験願書同封の払込用紙で郵便局又はゆうちょ銀行窓口で払込み（払込手数料が必要） ※ 機械での払込みをした場合は、窓口で払込用紙に付帯する「振替払込受付証明書（お客さま用）」（受験願書添付用）に日附印を受けること。	「振替払込受付証明書（お客さま用）」（受験願書添付用）を願書に貼付（願書B面）
電子申請	ホームページの指示に従い、コンビニ決済、クレジットカード決済等（払込手数料が必要（ただし、団体一括電子申請を除く。））	—

※ 団体申請の場合の払込み等については、後述17を参照のこと。

11 受験願書の記入

別記2「受験願書記入要領」及び「危険物取扱者試験受験願書（記入例）」を参照して記入すること。

12 受験願書に必要な添付書類等

下表のうち該当する必要書類等を、受験願書に貼付又は記入して申請すること。

必要書類等	具体的手続き、書類等	書類の貼付等
振替払込受付証明書	受験願書に同封の払込用紙を使用して、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口への支払い	受付局日附印がある「振替払込受付証明書（お客さま用）」（受験願書添付用）を願書B面表の該当箇所に貼付。（振替払込請求書兼受領証を貼らないこと）
受験資格等を証明する書類（該当者のみ）	★ 甲種試験受験者 別記1「甲種危険物取扱者試験 受験資格」で示す証明書類	願書B面裏の「各種証明書等貼付欄」又は「既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄」の該当欄に貼付。 なお、「乙種危険物取扱実務経験証明書」については、事業主等が受験願書のB面裏の様式に直接記入（社印及び証明権限者の印が必要）。 ※他の様式の場合は、個別にその適否を判定する。
	★ 乙種・丙種試験の科目免除資格者 該当する乙種免状又は火薬類免状の写し、団員歴証明書等（前述8（2））	願書B面裏の「各種証明書等貼付欄」又は「既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄」に貼付。
乙種又は丙種危険物取扱者免状（該当者のみ）	★ 乙種又は丙種危険物取扱者免状所持者（科目免除の有無にかかわらず）免状のコピー（表と裏の両面） ※上記免状が手帳式免状の場合 氏名及び写真のある面と既得免状の記載がある面双方のコピー	願書B面裏の「既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄」に免状の表面、裏面のコピーを貼付。

13 受験票及び写真の取扱い

(1) 受験票の取扱い

区 分	取 扱 事 項
書面申請の場合 (試験日の約10日前に支部から発送)	① 記載内容の確認 ② 氏名欄にボールペン等で記入、所定の写真(下記(2)参照)を貼付 ③ 試験当日持参(受験票(控)の部分を除く。)
電子申請の場合 (試験日の約10日前に電子メール)	① 電子メールの指示に従い受験票をダウンロード ② " 受験票を折り・のり付けして、氏名欄にボールペン等で記入、所定の写真(下記(2)参照)を貼付 ③ 試験当日持参(受験票(控)の部分を除く。)

- ※1 書面申請において、試験日の5日前までに郵送されない場合は、当支部へ連絡すること。
- ※2 記載内容を確認し、訂正すべき事項がある場合は、試験当日、試験室での受付時に申し出ること。
- ※3 受験票(控)は、今後の再受験に有用なので(前述1(1)等)、大切に保管すること。

(2) 貼付する写真の規格等

写真の大きさ	縦4.5cm、横3.5cm(いわゆるパスポート・サイズ)
画質・画像	試験日の6か月以内に撮影したカラー又は白黒写真で ・鮮明なもの(デジタル写真の場合は、フィルム写真と同等以上の高画質なものに限る。) ・髪などで目がかくれず、よく分かるもの ・胸から上の正面三分身像、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景 ・枠なし
裏書き	写真の裏面に撮影年月日、氏名・年齢を記入。

(3) 受験票の取扱

【書面申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号 (0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場(試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

注:記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

**受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。**

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合

この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票

写 真

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
6ヶ月以内に撮影したもの
(正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)しつかりのり付けて下さい。
(セロハンテープ不可)

複数受験者座席番号 (0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かみ書」で記入してください。		
試験日時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場(試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

①切り離す

②写真を貼る

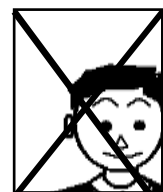
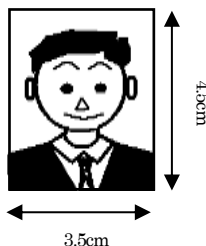
③鉛筆以外で記入

[写真の例]

良い写真

悪い写真

- ・前髪が目にかかっていたり、サングラスをかけたたりしない。
- ・画質の悪いもの、キズのあるもの、不鮮明なものなども不可。



○ 受験票の氏名欄は、鉛筆以外で記入。

【電子申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

注 意 事 項

- 1 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆(B又はHB)、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書(運転免許証等)の提示をお願いします。
- 7 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時の変更が生じた場合は、当センターのホームページに緊急情報又は各支部からの重要なお知らせとして掲示します。

一般 財団法人 消防試験研究センター ○○県支部
 〒123-4567 Tel 123-456-7890
 ○○県○○市○○区○○町1-23-4○○市センタービル 10階

①切り離す

切り取ってください

②山折りのり付け

山折りのり付け



③写真を貼る

危険物取扱者試験 受験票

写 真
 縦 4.5cm × 横 3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
 6ヶ月以内に撮影したもの
 (正面、無帽(宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。)、無背景、上三分身像)

しっかりのり付けて下さい。
 (セロハンテープ不可)

④鉛筆以外で記入

複数受験者座席番号(0004)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	受験者氏名を「仮書」で記入してください。		
試 験 日 時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

8014211225050E100013 免なし
 001-01-0001 00001 (1234)

試験当日、この受験票は回収します。

危険物取扱者試験 受験票(控)

複数受験者座席番号(1234)

受験番号	E1-0011	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏 名	消 防 太 郎		
試 験 日 時	○年○月○日[1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場 (試験室)	○○○○試験会場 ○○市○○区○○町 1-1-1 01001講義室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			
受 験 者 現 住 所			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
 注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
 次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
- 2 受験票に写真を貼っていない場合
- 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合この受験票(控)は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要なものですので、大切に保管してください。

14 合格基準

試験科目毎に、60%以上の成績（正答率）であること。

なお、前述8により試験科目の一部が免除された場合は、免除された以外の問題で上記の成績であること。

15 試験結果発表

(1) 試験結果発表の予定日

別紙「令和3年度 危険物取扱者試験 試験日程等」をご確認ください。

(2) 発表方法

- ① 結果発表日の午前9時から当支部の掲示板に合格者の受験番号を公示するとともに、受験者全員に合否を記した結果通知書を郵送する。
- ② 結果発表日の正午から、合格者の受験番号をホームページ（一般財団法人 消防試験研究センター <https://www.shoubo-shiken.or.jp>）にも掲示する。
※試験結果の合否、受験番号、試験問題及びその解答に関する電話等での問い合わせには、一切応じない。

16 合格者の免状交付申請手続き

合格者は、後述の「○ 合格者の免状交付申請手続き」を参照して、交付申請の手続きを速やかに行うこと。

17 団体申請による受験（団体受験）

(1) (法人、学校等教育機関、グループ等の) 団体申請の条件

- ① 10人以上の受験者が見込まれること。
- ② 受験願書の提出、試験手数料の払込み、その他関係事務を取りまとめる担当者（以下、「団体代表者」という。）を置くこと。

(2) 手続き

区 分	手 続 ・ 条 件
書面申請	<ol style="list-style-type: none">① 年度毎に、支部で入手した「団体申請申込書」を提出すること。② 受験願書及び試験種別受験者名簿を一括提出すること。（払込書による受験手数料の全員分の一括払込みが可能。）③ 受験票及び試験結果通知書を団体代表者宛に一括送付することを希望する場合 一括提出する願書に、団体代表者宛の受験票送付用封筒 及び 試験結果通知書送付用封筒（いずれも切手不要）を添えて提出すること。
電子申請	<ol style="list-style-type: none">① 大学での受験であること。② 年度毎に支部で入手した「団体申請申込書」の提出に併せ、電子申請に必要な「団体コード」、「団体確認キー」及び「団体代表者キー」の交付を受けること。③ 電子申請の種類<ul style="list-style-type: none">○ 団体「個別」申請（団体代表者の下で、受験者が個別に直接電子申請する方法）<ul style="list-style-type: none">・ 団体代表者：団体情報の登録 及び 受験者への周知（「団体コード」、「団体確認キー」）・ 各 受 験 者：団体申請者向けホームページから願書の電子申請及び受験手数料の払込み、受験票のプリントアウト○ 団体「一括」申請（団体代表者が、願書を一括して電子申請する方法）<ul style="list-style-type: none">・ 団体代表者：ホームページの電子申請システムの指示に従い次の事務を行う。 願書データの一括入力、証明書類一覧表・当該証明書類・（一括送付希望の場合）試験結果通知書送付用封筒（切手不要）の支部への提出（期限：電子申請期間末日）、試験手数料の払込み（一括又は個別払込みの選択可）、受験票の出力・配付

※ 試験結果通知書の送付については、申出により一括又は個別送付の選択が可能。

18 その他の注意事項

(1) 願書提出時の留意事項

- ① 願書受付期間後に、受験の取消し、試験種類、受験地の変更等の要求には応じない。
- ② 受理した受験願書及び関係書類は、返さない。
- ③ 車椅子や松葉杖を使用するなどして、受験時に特段の配慮を望む場合は、願書提出時に申し出ること。支部は可能な範囲で配慮をします。

(2) 試験当日の留意事項

- ① 所定の写真を貼付した受験票を持参すること。(前述13参照。)

ただし、試験当日、受験票を忘れた者、又は受験票に所定の写真を貼っていない者、若しくは受験者本人と照合できない写真を貼付した者は、次表の受験の条件を満たしたときは受験できる。

区 分	受 験 の 条 件
ア 受験票を忘れた者	試験本部で本人確認を受け、かつ、イの条件を満たしたとき。
イ 所定の写真の貼付の無い者又は本人と照合できない写真を貼付した者	所定の写真を緊急に調達し、受験票（アの受験票を忘れた者にあつては、試験本部で再交付された受験票）に貼付して、試験開始後30分以内に試験室に入室できたとき。

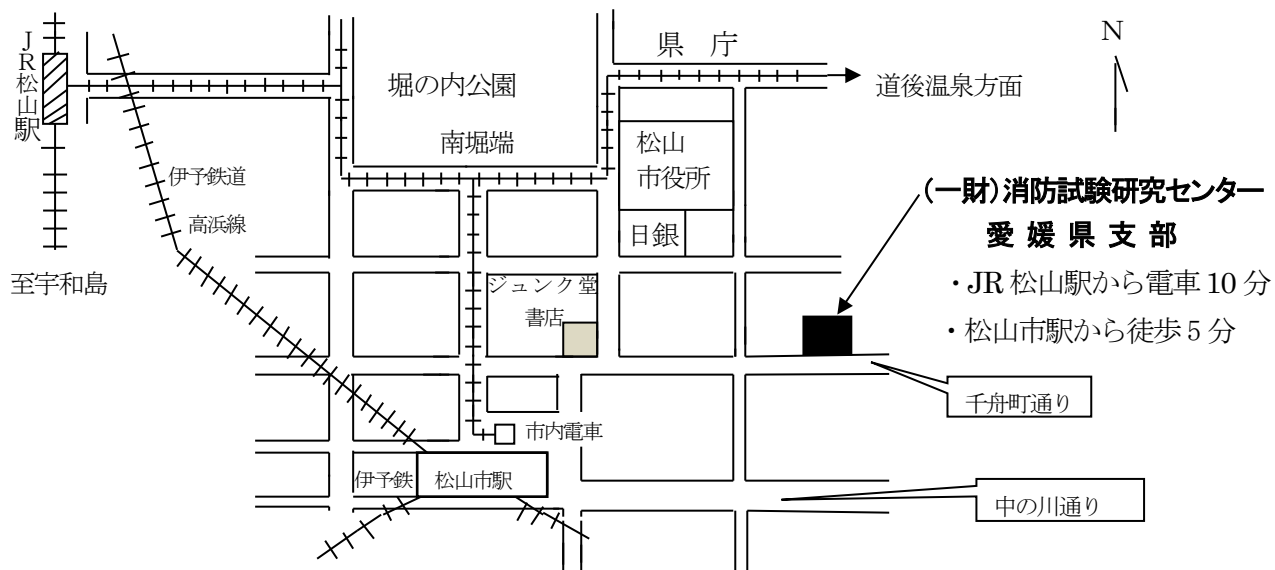
- ② 解答記入のために、B又はHBの鉛筆（シャープペンシル含む）数本、消しゴムを持参すること。（解答用紙にボールペン等を使用した場合は、内容の読取りができない。）
- ③ 受験票に記載の集合時刻に、試験室で受験票の確認を受け、指定の座席に着席すること。
- ④ 受験机には、筆記用具、飲用ペットボトル、腕時計以外のもの（テンプレート等の定規類、下敷き、筆箱、電卓、電子手帳、腕時計型端末、携帯電話、スマートフォン等）は、置かないこと。
- ⑤ 試験問題集や解答カードの持ち帰り、問題の撮影やメモは、失格となるので留意すること。

19 お問い合わせ先及び支部事務所案内図

★ お問い合わせ先は、前述 4 のとおり。

当支部事務所の所在地は下図のとおり。

★ 当センターは、試験実施機関であり、受験準備の講習会や参考書の販売は実施していない。



甲種危険物取扱者試験 受験資格

資格者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
[1] 大学等において 化学に関する学科又は課程 を修めて卒業した者 (別表1参照)	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	大学等卒	卒業証書、学位記等卒業したことを証する書類の写し(縮小したものも可)又は卒業証明書(原本:学科等の名称が明記されているもの)
[2] 大学等において 化学に関する授業科目を15単位以上 修得した者 (別表2参照)	大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校(以上通算可) 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書(原本)(別表2後の書式例2を参照のこと)又は成績証明書(原本)(いずれも修得単位が明記されているもの)
[3] 乙種危険物取扱者免状を有する者	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における 危険物取扱の実務経験が2年以上 の者	実務2年	乙種危険物取扱者免状の写し及び乙種危険物取扱実務経験証明書
	次の 4種類以上 の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状の写し
[4] 修士・博士の学位を有する者(別表1参照)	修士又は博士の学位を授与された者で、 化学に関する事項を専攻 したもの(外国の同学位も含む)	学位	学位記の写し等(専攻等の名称が明記されているもの)
上記のいずれかにより、 過去3年以内の甲種危険物取扱者試験の受験申請が受理され、その受験票(控)又はその試験結果通知書を有している者		上記のうち該当する略称	受験票(控)又は試験結果通知書(各コピー可)

- (備考) 1 [1]の卒業証書、学位記等又は卒業証明書は、化学に関する学科又は課程が証明できるものがが必要です。高等学校及び中等教育学校の専攻科については、修業年限が2年以上のものに限ります。
- 2 [1]及び[2]の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として上表の書類のほか、次のア又はイのいずれかの書面が必要になります。(ただし、上表の証明書類に次のア又はイの内容が記載されている場合は、次の書面は不要です。)
ア 「専門士」若しくは「高度専門士」の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し。
イ 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面。(別表2表外の書式例1を参照してください。)
- 3 [2]の大学、短期大学、高等専門学校、大学院、専修学校における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。また、複数の大学等において単位を修得した場合は、それぞれの単位を通算することができます。
- 4 [3]の乙種危険物取扱実務経験証明書は、事業主等が受験願書のB面裏の様式に記入してください。
- 5 [4]の証明書類は、学位記・修了証書の写し、学位授与証明書・修了証明書の原本等です。
- 6 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業者及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細は、願書提出前にお問い合わせください。
- 7 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。
- 8 受験願書には、既得の危険物取扱者免状の両面のコピーを貼付してください。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる「化学に関する分野」の学科又は課程
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料科学工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料物性学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料加工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料機能工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料工学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料科学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

(備考)「化学に関する分野」で上表にない場合は、お問い合わせください。

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる「化学に関する分野」の授業科目
- 2 次の表に示す授業科目

化学の授業科目の名称									
ア	アモルファス物性工学 安全管理学 安全工学 安全防災工学	カ	環境物質工学 感光物性論 岩石学 官能基変換論	コ	高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学 細胞培養学	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元 産業廃水処理 色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学	シ	食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学 生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学
イ	移動現象論 移動速度論 医薬品安全性学 医薬分子設計学 医用高分子機能学	キ	機器分析 機能高分子学 機能性高分子材料学 機能性材料工学 機能性触媒工学 機能性有機材料 機能セラミック論 凝固論及び結晶生成	ク	金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ス	セ	ス	ス
エ	衛生工学 衛生薬学 栄養学 エレクトロニクス エレクトロニクス材料工学	ク	金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ケ	金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	セ	セ	セ	セ
オ	応化・プロセス工学	ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	ク	金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	シ	シ	
カ	回折結晶学 界面工学 界面制御学 界面電子工学 界面物性 科学史 核燃料工学 核燃料サイクル特論 核融合概論 核融合工学概論 化工熱工学 化工熱力学 化工物理学 化工流体工学 化石エネルギー 火薬学 ガラス工学 ガラス材料 ガラス状態論 ガラス物性 環境汚染物質分析学	コ	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論	ク	金相学 金属学 金属加工学 金属工学 金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面処理 金属物性 計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	シ	シ	シ

化学の授業科目の名称(続き)

セ	精密有機合成特論 製薬学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミック概論 セラミック材料工学 セラミック電子材料 セラミックプロセス セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 ト 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミック ニ ニューセラミック学 ネ 燃焼学 燃焼工学 燃焼熱工学 燃焼物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃焼潤滑論 燃料燃焼論 燃料分析学	ハ	反応操作 反応速度論 ヒ 非金属材料 非晶質科学 微生物遺伝学 微生物学 微生物機能学 微生物工学 非鉄材料学 非平衡論 表面・界面工学 表面工学 表面分析 肥料学 フ ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性子測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学 分子解析学 分子機能	フ	分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学 ヘ 平衡論 平衡・反応論 ホ 放射線計測学 放射線物性計測学 マ 膜機能工学 マテリアル工学 ミ 水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論 ム 無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学 メ 免疫薬剤学 モ 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学 ヤ 冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学	ヤ	薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学 ユ 有機機器分析 有機機能性材料 有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学 融体有機材料電子物性 ヨ 窯業工学 窯炉工学 リ 粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学 レオロジー
---	--	---	--	---	--	---	--	---	--

(備考) 1 化学に関係のある実験、実習も授業科目として扱います。

2 「化学に関する分野」の授業科目で上表にない場合は、お問い合わせください。

○ 専修学校用受験資格証明書 <書式例1>

右の例の内容が記載されていれば、証明書の書式は問いません。

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書（専修学校用）

○○ 年 月 日 入学 ○○ 科 ○○ コース

○○ 年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○

年 月 日生

学校教育法第 124 条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号	
○○ 年 月 日 △△△第 号	
課 程 の 名 称	○ ○ ○ ○ 専 門 課 程
修 業 年 限	2 年
課程の修了に必要な総授業時数	1700 時間

上記のとおり証明する。

年 月 日

(専修学校の所在地)

○○専修学校 学校長 氏名 ○○ ○○ 印

○ 単位修得証明書 <書式例2>

1 右の例の内容が記載されていれば、証明書の書式は問いません。

2 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

○○第 号

単 位 修 得 証 明 書

○○ 年 月 日 入学 ○○ 部 ○○科

○○ 年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○

年 月 日生

化学の科目名	修得単位	化学の科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

年 月 日

○○大学 学長 氏 名 ○○ ○○ 印

別記 2

受験願書記入要領

受験願書は、**A面とB面の複写式**です。次の記入要領と記入例を参考にして、**黒色ボールペン**を使って丁寧に**記入**し、書き損じ箇所は、横二重線を引き、余白に訂正してください。**(訂正印不要)**

願書記入欄		記入要領	
A	① 都道府県名	都道府県名欄は、「愛媛」と記入。	
	② 申請日	願書提出日を記入。	
	申請者 氏名	③ フリガナ	左詰め、カナ氏名の濁点・半濁点は1マスを使って記入。
		④ 氏名	氏と名を分けて左詰めで記入。外国籍の受験者は住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入。
	⑤ 生年月日、 本籍	該当する元号に○を付け、1桁の場合は前に「0」を付ける。 本籍欄は、本籍の都道府県名を記入。(外国籍の者は「外国籍」と記入) コードは、願書B面裏の「都道府県等コード表」を参照。	
	⑥ 住所	郵便番号は7桁枠内に記入。住所は3段(都道府県市町村名、番地、マンション名)に分け記入、「大字」・「番地」・「棟」・「号」は省略。	
	⑦ 自宅電話番号等	市外局番から「-」を入れて記入。(例：089 - 000 - △△△△)	
	⑧ 勤務先名又は学校名、 連絡先電話番号	勤務先又は学校名を記入。 連絡の取り易い電話番号を記入。(携帯電話も可)	
	⑨ 試験日	試験日を記入。	
	⑩ 試験種類	受験する試験種類を○で囲む。 乙種は受験する類番号(1～6)を記入。	
面	⑪ 受験地	希望する受験地名を〇〇市と記入。(例：松山の場合は、松山市) ただし、高校生等で大学での受験を希望する場合は、「大学」と記入。「高校生等」には、高等専門学校生を含む)	
	⑫ 甲種受験資格	甲種受験者は、資格の略称を記入(9頁、別記1参照)。乙・丙種は記入不要。	
	⑬ 科目免除 (甲種受験者を除く)	乙種危険物取扱者免状の交付を受けている者は、「受けている」に○を付け、その他の欄は、該当する者のみ記入。	
	⑭ 複数受験	複数受験者は、⑩で記入した類と同時に同一支部で受験する他の類を記入。	
	⑮ メールアドレス (任意)	書類等に不備があった場合の連絡手段として願書記載の自宅電話等に連絡しますが、それによりがたい場合で、メールによる連絡も希望する者はメールアドレスを記入。(携帯電話アドレス可) なお、迷惑メール対策等の設定をしている者は、当支部からのメールが届くようドメイン指定受信等の設定(ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp)が必要。	
	⑯ 他の都道府県申請状況	他の都道府県で3ヶ月以内に受験申請した者は記入。	
	⑰ 該当する職業等	①～⑩から1つ選び○をする。(無職は「その他」に記入)	
	⑱ 免状取得の有無等	既得免状の有無について、該当するものに○をする。 右側の「免状番号」欄に既得の免状番号を記入。	
	⑲ 取得している 危険物取扱者免状	⑱で「有」に○をした者は、全ての既得免状の交付状況を記入。 コードは、願書B面裏の「都道府県等コード表」を参照。 丙種のみの場合を含め、願書B面裏に該当免状写しの両面を貼付。	
	⑳ 免状番号	免状の写真下に記載されている12桁の番号を記入。	

	★ B面は、複写式となっていますので、A面から転写されます。	
B 面 表	② 振替払込受付証明書	<p>試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行で払込み、受付局日附印のある「振替払込受付証明書（お客さま用）」受験願書添付用を指定箇所に貼付。</p> <p>受付日附印のないものは不可。（やむを得ず機械払込をした場合は、あらかじめ、窓口で「振替払込受付証明書（お客さま用）」（受験願書添付用）に日附印を受けること）</p> <p>なお、本人用の「振替払込請求書兼受領証」を貼付しても無効。</p>
	② 各種証明書等貼付欄	甲種受験資格者の証明書類、又は火薬類免状の写しを貼付。
B 面 裏	③ 乙種危険物取扱 実務経験証明書	「実務2年」で受験する甲種受験者のみ記入。会社印と証明者印の両方必要。実務2年の証明内容を具備していれば、他の様式の証明書でも可。
	④ 既得危険物取扱者 免状（コピー）貼付欄	危険物取扱者免状の所持者は、 科目免除の有無にかかわらず 、乙・丙種免状のコピー（両面）を貼付。（氏名・写真・交付番号等の全面コピー）
	⑤ 5年以上消防団員で 基礎教育又は専科教育 の警防科を修了した者	5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防学校の教育訓練のうち、基礎教育又は専科教育の警防科を修了した者が、丙種試験の科目免除を受けるときは、団員歴証明書（消防団長等が証明するもの）及び教育修了証明書（消防学校長が証明するもの）を貼付。

個人情報取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、取得した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、試験における座席票の氏名表示、免状交付申請書、受験票の表示、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成のため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。



危険物取扱者試験受験願書 (A面記入例)

危

① 一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿 都道府県名 愛媛		② 申請日 令和 △△ 年 △△ 月 △△ 日				
申請者氏名 ③ ショウホウ	姓 ハナコ					
氏名 ④ 消防	名 花子 <small>フリガナ・氏名は、氏と名に分けて、左づめで記入してください</small>					
⑤ 生年月日 大 ⑥ 05 年 10 月 03 日生	本籍 愛媛	都道府県	本籍コード 38			
⑥ 郵便番号 791-1135 <small>必ず記入してください</small>	自宅電話番号 ⑦ 089-000-8808	⑧ 勤務先名又は学校名 △△△松山支店				
住所 愛媛県松山市西野町甲 104-1-21	連絡先電話番号(携帯電話も可) 089-000-△△△△					
⑨ 試験日 令和 00 年 00 月 00 日	⑩ 試験種類 甲 乙 丙 種 一 第 4 類	⑮ メールアドレス(任意) @				
⑪ 受験地 松山市	⑫ 甲種受験希望 <input type="checkbox"/>	⑯ ⑮ 他都道府県での受験申請状況				
⑬ 科目免除 乙種危険物取扱者免状の交付を (受けている)	⑭ 同時に複数の試験を受ける者は、この願書以外に受ける種類を記入すること 甲 乙 丙 種 一 第 類	⑰ 該当する職業等に1つだけ○を記入してください				
⑱ 免状取得の有無について記入してください 有	⑲ 免状番号 20 1384 1651 8689	⑳ 取得している危険物取扱者免状は全部記入してください				
元号コード	免状交付年月日	交付番号	※入力番号	交付知事	コード	(記入上の注意) ● 本用紙は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください ● 本用紙を汚したり、折り曲げたりしないでください ● 免状番号は、免状写真裏面に記載されている番号です ● 印は、記入しないでください ● 印は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください ● 印は、黒色のボールペンを使用し「かい書」で記入してください
甲						
乙1						
乙2						
乙3						
乙4						
乙5						
乙6	5	02 年 07 月 16 日	00031	愛媛	38	
丙						

※団体コード ※受付機関コード ※分類コード

危険物取扱者試験受験願書 (B面記入例)

一般財団法人 消防試験研究センター理事長 殿		都道府県名	申請日	年	月	日
申請者氏名	フリガナ					
生年月日	大・昭・平	年	月	日生	本籍	都道府県
郵便番号	[][]-[][][][]		自宅電話番号 又は携帯電話番号			郵便先等連絡先
住所						連絡先電話番号
						内線()

試験日	年	月	日
試験種類	甲 乙 丙 種 一 類 類		
受験地	[][][][] [][][][]		
甲種受験資格	[][][][] [][][][]		
科目免除	火災予防保安責任者免状又は火薬類取扱保安責任者免状による試験科目免除を 受ける 乙種危険物取扱者免状の交付を 受けている 5年以上消防団員として勤務し、かつ、基礎教育又は専科教育の習得料を修了した者に 該当する		

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

ここに「振替払込受付証明書」を貼ってください。

振替払込受付証明書(お客さま用)

【ご振込先ご住所】おうちより銀行にご振込先

お振込先
 一般財団法人
 消防試験研究センター
 〒00170-3-136220
 00170-3-136220

全額振替書添付用

お振込先住所
 松山市西野町甲
 104-1-21
 消防 花子
 089-000-8808

¥ X X 〇 〇

受 付
郵便局印

※受付欄

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- 2 本語の欄は、本籍地の属する都道府県名を記入すること。ただし、外国語の者は「外国語」と記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。

※受験番号

※団体コード [][][] ※交付機関コード [][][] ※区分コード [][][][][] ※ []

(B面)

22

25

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけして貼付してください。

都道府県等コード表

北海道	01	福島	07	東京	13	山梨	19	滋賀	25	鳥取	31	香川	37	熊本	43
青森	02	茨城	08	神奈川	14	長野	20	京都	26	島根	32	愛媛	38	大分	44
岩手	03	栃木	09	新潟	15	岐阜	21	大阪	27	岡山	33	高知	39	宮崎	45
宮城	04	群馬	10	富山	16	静岡	22	兵庫	28	広島	34	福岡	40	鹿児島	46
秋田	05	埼玉	11	石川	17	愛知	23	奈良	29	山口	35	佐賀	41	沖縄	47
山形	06	千葉	12	福井	18	三重	24	和歌山	30	徳島	36	長崎	42	外国籍	99

23

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名			年 月 日生
取り扱った危険物	第 類	品 名	
取り扱った期間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月)		
製造所等の区分	・製造所	・貯蔵所	・取扱所
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明年月日	年 月 日		
事業所名			
証明者 役職			印
氏名			
電話	-		印


甲種危険物取扱者試験を受験する者は、各種証明書類（必要事項が記入されており、押印されているもの。）を貼付してください（消防法第13条の3第4項第1号及び第2号）。

24

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

危険物取扱者講習の状況		
修了年月日	講習実施機関	証 印
(備考)		

危険物取扱者免状			
氏名	消防 花子		
生年月日	平成05年10月03日 本籍 愛媛県		
種別等	交付年月日	交付番号	交付所
甲種			
乙種1類			
乙種2類			
乙種3類			
乙種4類			
乙種5類			
乙種6類	R02.07.16	00031	愛媛
丙種			




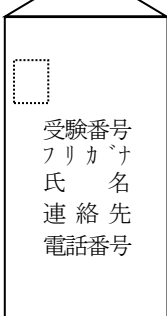
写真の書換は
2030年
7月16日まで
1384 1651 8689
愛媛県知事

(B面裏)

○ 合格者の免状交付申請手続き

試験に合格した方は、試験結果通知書 兼 免状交付申請書（以下「申請書」という。）を切り離さないで、試験結果通知書下段の枠内説明文及び下表に従い、申請期間内に、当支部に郵送又は持参して、免状の交付を受けてください。

なお、免状交付申請に必要な経費は自己負担となりますので、ご了承願います。

申請時に準備するもの	免状を郵送で受け取る場合	免状をセンター支部窓口で受け取る場合
1 定形封筒 長さ 14～23.5 cm 幅 9～12 cm	<p>免状は、簡易書留で郵送するため、定形封筒には404円分（下記※（3）参照）の郵便切手を貼付し、表面に受験番号を記入してください。</p> <p>願書記載の住所以外の場所に郵送を希望する場合は、希望送付先を記入してください。勤務先送付の場合でも、申請者の氏名は必ず記載してください。</p> <p>免状が作成でき次第、この封筒を使って郵送いたします。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> </div>	<p>受験番号、氏名、連絡先電話番号を記入した定形封筒を準備してください。</p> <p>郵便切手は不要です。</p> <p>免状が手交できる段階で電話連絡しますので窓口まで来てください。</p> <p>その際、</p> <p>① 本人が受領する場合は、印鑑</p> <p>② 代理人が受領する場合は、委任状、代理人の写真付き公的証明書（運転免許証等）及び代理人の印鑑</p> <p>が必要です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>表</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>裏</p>  </div> </div>
2 愛媛県収入証紙 (2,900円)	<p>愛媛県収入証紙（<u>収入印紙は不可</u>）は、伊予銀行本店・支店（一部支店を除く）等の愛媛県収入証紙売りさばき所（当センターホームページの「証紙入手先」からアクセス可）で購入し、申請書裏面の手数料貼付欄に重ならないように貼付してください。（抹消印のあるものは不可）</p>	
3 既得危険物取扱者免状	<p>危険物取扱者免状を所有している方は、既得免状を添付してください。（携帯義務のある方は、既得免状の写しを添付し、新しい免状の交付時に既得免状を返納してください。）</p> <p>既得免状を亡失又は滅失した方は、その免状の再交付申請を同時に行ってください。</p>	

※ 複数の免状の一括交付について

事業所等で、複数名の免状の一括交付を申請される場合は、以下の点に注意してください。

- (1) 複数名の申請者の申請書をまとめて提出してください。
- (2) 免状送付用封筒の裏に、申請者全員の受験番号と氏名を記入してください。（別紙名簿同封も可）
- (3) 免状枚数が3枚以上の場合の簡易書留用郵便切手料金は、上記404円を次のとおり読み替えてください。

免状枚数	3～6枚	7～12枚	13～19枚	20～33枚	34～67枚
切手料金	414円	460円	530円	570円	710円

- (4) 団体代表者等がセンター窓口で代理受領する場合の留意事項は、上表1の右欄の記載内容と同じです。